

令和元年度半田市障がい者自立支援協議会 第1回 事業所連絡会 ダイジェスト

発行元：半田市 令和元年10月

今回の事業所連絡会は、在宅サービス事業所の職員を対象として、災害時の支援体制の見直しについての周知と、居宅介護・訪問看護の支援内容や、各事業所が抱える課題を確認し、その課題解決に向けての協議を行いました。

- 日時：令和元年7月31日（水）
13時30分～15時00分
- 場所：雁宿ホール（社会適応訓練室）
- 内容：①災害時要配慮者の避難支援体制について
②居宅介護・訪問看護事業所の現状について
- 参加人数：24名



1. 災害時要配慮者の避難支援体制の見直しについて

① 開設期間による福祉避難所区分の見直し

従来の福祉避難所・二次福祉避難所の区分を見直し、開設期間により「拠点福祉避難所」（中長期）と「（拠点外）福祉避難所」（短期）と整理し、福祉避難所協定の再締結を行います。

（長期：1か月以上、中期：1か月程度、短期：1週間程度）

② 支援者派遣事業所

福祉避難所における要配慮者支援について、市職員だけでは対応に限界があるため、市内福祉サービス事業所等と支援者派遣事業所としての協定を締結し、災害時には福祉避難所への人員派遣を要請します。

2. 居宅介護・訪問看護事業所が抱える課題の確認・解決策アイデアの共有

◆事業所の抱える課題◆	◆解決策アイデア◆
<p>○ 人材不足</p> <ul style="list-style-type: none">・ヘルパーや看護師の人材確保・時間帯の偏りによる人材不足・突然のキャンセルや依頼への対応・ヘルパーの高齢化・障がいを持った人への支援の不安・女性に比べ、男性ヘルパーが少ない・医療的ケアが必要な利用者に対する看護師不足	<ul style="list-style-type: none">・生活支援員のうち、希望者に対して研修の受講を勧め、ヘルパーとして育てる。・日中活動系の事業所と訪問系の事業所との情報共有による、利用時間の検討・半田市独自の加算新設等（夕方の支援）・働く人と当事者との出会いの場の設定
<p>○ 支援内容の重複</p> <ul style="list-style-type: none">・居宅介護と訪問看護それぞれが同じような支援を行っている場合がある	<ul style="list-style-type: none">・サービス担当者会議において、ヘルパーと訪問看護それぞれが担う役割を明確化
<p>○ 支援にあたっての不安</p> <ul style="list-style-type: none">・他職種と同行訪問を行うことができる訪問看護と比べ、ヘルパー支援は1人で行うため、支援方法への不安	<ul style="list-style-type: none">・連携方法の検討 <p>例) ヘルパーが病院に電話で相談し、看護師から支援に関するアドバイスをもらう 等</p>

アンケート結果

- ・自社だけではわからない事が多く、他の事業所での課題に対する対応策を知れる良い機会でした。
今回のような会議を定期的に行いたいという希望が多数ありました。

問い合わせ先

半田市障がい者相談支援センター（徳山）
TEL 0569-21-5585
半田市地域福祉課（岡澤）
TEL 0569-84-0643